

『山の日フェスタぎふ2018』に出展しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター 岐阜水源林整備事務所

「ねえ見てー、こんなおっきい松ぼっくり！！」

開場直後からたくさん子ども達が集まってくれたのは、松ぼっくりやどんぐりと木製コースター等を使うことで、木の温もりを直に感じながら木工を楽しんでいただく、「松ぼっくりで工作をしよう！」のコーナー。

8月5日、「ぎふ木育WEEK」の初日、ここ JR 岐阜駅構内のアクティブGでは、『山の日フェスタぎふ2018』が開催されました。この催しは、「ぎふの山に親しむ月間」（8月）の中心行事として、岐阜県、岐阜県山林協会、岐阜県森林組合連合会などが主催したもので、岐阜水源林整備事務所も「松ぼっくりで工作をしよう！」のブースを出展しました。

猛暑日にも関わらず、家族連れを中心に大人50名、こども60名の総勢110名の方にブースに足を運んでいただきました。



ブースの様子①



ブースの様子②

開催場所が駅構内ということもあり、夏休みに帰省や旅行で岐阜駅に着いたばかりの家族も多く、今から会いに行くおばあちゃんへプレゼントをしたいと、嬉しそうに作品をかかえる子供さんもいました。

また、当ブースでは水源林造成事業に関するパネル展示やパンフレットの配布を行い、多くの方々に水源林の果たす役割を紹介し、事業のPRを行いました。

今後もこのようなイベント等の機会を利用して、地域の皆様方をはじめ、より多くの皆様に森林を身近に感じていただき、水源林の重要性や森林整備の必要性等について理解を深めていただけるよう取り組んでまいります。